

在宅副業投資
FTA
証券口座開設マニュアル



証券口座の選び方

FXでトレードをするには、証券口座の開設が必要となります。現在さまざまな証券会社がありますが、まずポイントとして

・MT4に対応している

こちらが必須条件となります。

更に国内証券や海外証券で、メリット・デメリットがございますので、ご自身のトレードスタイルに合った証券口座をご開設ください。



メリット・デメリットの説明

まず大きく分けて、国内証券会社と海外証券会社があります。

国内証券会社のメリット

- ・安全性が高い
- ・スプレッド、手数料が安い
- ・入出金がスムーズ

国内証券会社のデメリット

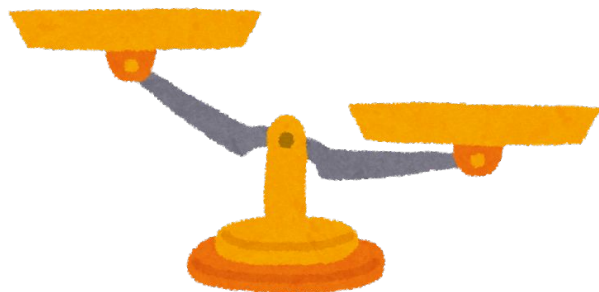
- ・レバレッジが低い(最大25倍)
- ・投資金額が高くなりがち
- ・口座開設が比較的難しい
- ・MT4に対応していない会社もある

海外証券会社のメリット

- ・レバレッジが高い(最大1000倍)
- ・MT4に対応している会社が多い
- ・口座開設が比較的簡単

海外証券会社のデメリット

- ・入出金に手間がかかる事がある
- ・スプレッド、手数料が高め



最終的に決め手となるのは...？

証券会社によってメリット・デメリットが存在する事がわかったと思います。

では、最終的にどうやって決めれば良いのでしょうか？

それは、シンプルに『用意出来る運用資金額』で判断するのが良いかと思います。

今回はTrader Kaibe氏おすすめの、3つの証券会社をご紹介しますので、好きな証券会社をお選びください。

尚、新規の口座開設は強制ではございませんので、必要に応じてご開設いただくよう、お願い申し上げます。

・各証券会社早見表

※証券会社名をクリックすると、口座開設へと進む事ができます。

証券会社名	国内・海外	口座種類	推奨最低入金額
Tradeview	海外	Xレバレッジ口座	2万円～
	海外	ILC口座	20万円～
FXGiants	海外	レギュラー口座	10万円～
	海外	ゼロスプレッド口座	10万円～
OandaJapan	国内	東京サーバー口座	50万円～

※今回お渡しするFTAのサインツールの場合、TraderviewのILC口座、もしくは低資金の場合、Xレバレッジ口座がオススメです。運用資金によってお選びください。



口座開設についてのご注意

- ・口座開設手続きは必ずご本人様が行ってください。
- ・口座開設についてのお問い合わせは、弊社ではなく、お手続きをする証券会社に直接お問い合わせください。
※弊社で回答出来るものは回答いたします。

例：

レギュラー口座とゼロスプレッド口座のどちらがおすすめ？→回答可能
入金方法について詳しく教えて→各証券会社にお問い合わせください

- ・証券口座へ入金した資金に関しまして、弊社は一切関知・関与出来ません。



実際の口座開設例(Tradeviewの場合)

こちらから、Tradeviewの個人口座開設申請フォームにアクセスしてください。

Tradeview 個人口座申請

*取引プラットフォーム: 取引プラットフォーム ▼ *通貨: 取引口座の通貨 ▼

取引プラットフォームを選択

取引口座の通貨を選択

ご登録情報

*姓(ローマ字): 姓(ローマ字) *名(ローマ字): 名(ローマ字) ミドルネーム(該当する場合): ミドルネーム(該当する場合)

- ・取引プラットフォームは
メタトレーダー4 Innovative Liquidity Connector(ILC口座)
メタトレーダー4 X Leverage
上記のどちらか、お客様の運用資金額と照らし合わせた上で
お選びください。
- ・取引口座の通貨は日本円がおすすめです。



ご登録情報

*姓(ローマ字):

姓(ローマ字) **姓をローマ字入力**

*名(ローマ字):

名(ローマ字) **名をローマ字入力**

ミドルネーム [該当する場合]:

ミドルネーム (該当する場合)

*出生地:

出生地:



出生地を選択

*生年月日

日

月

年

パスポート番号

パスポート番号 **パスポート番号を入力**

パスポートの有効期限

日

月

年

*国籍

国籍



国籍を選択

姓	「田中」なら Tanaka
名	「太郎」なら Taro
ミドルネーム	該当する場合記入。無ければ空欄でOK。
出生地	日本なら Japan を選ぶ。
生年月日	日/月/年 の順に入力。
パスポート番号	写真付きページに記載の旅券番号を記入。 パスポートが無ければ空欄で OK
パスポートの有効期限	写真付きページに記載の有効期限を記入。 パスポートが無ければ空欄で OK
国籍	日本国籍なら Japan を選択

※氏名は、入出金に利用する銀行口座・クレジットカードの名義と同一のものにしてください。名義が異なる場合、入出金がスムーズに行えない可能性があります。ご注意ください。



居住地に関する情報

*国 **居住国を選択**

国

*住所 (ローマ字):

住所 (ローマ字) **番地・号数**

*電話番号 (半角数字)

電話番号 (半角数字) **電話番号**

都道府県

都道府県 **都道府県**

*市区町村 (ローマ字):

市区町村 (ローマ字) **市区町村**

住所 (必要な場合・ローマ字)

住所 (必要な場合・ローマ字)
マンション名や部屋番号

*郵便番号 (半角数字)

郵便番号 (半角数字) **郵便番号**

*Eメールアドレス

Eメールアドレス **Eメールアドレス**

*性別::

男性

*選択してください:

未婚

性別を選択

未婚か既婚を選択

米国市民権に関する情報

該当するものにチェックを入れてください

※全て英語表記の半角英数で入力してください。

国	現在居住している国を選択。 日本ならJapanを選択。
都道府県	東京都の場合 Tokyo-to
市区町村	渋谷区の場合 Shibuya-ku
住所	番地や号数を入力。
住所	マンション名やアパート名、部屋番号を記入。
郵便番号	郵便番号を記入
電話番号	+81を頭につけて登録する電話番号もしくは携帯電話番号の最初の0を抜かした数字を入力 (例:+819011112222)
Eメールアドレス	Eメールアドレスを記入
性別	性別を記入
未婚・既婚	該当する方を選択



英語表記で住所を入力するにあたって

英語で住所を入力する場合、日本語表記と順番が逆になります。

例：東京タワーの住所の場合

東京都港区芝公園4丁目2-8

↓

4-2-8 Shibakoen,
Minato-ku, Tokyo-to,
Japan

住所を英語表記にするのが難しければ「JuDress」などの変換サービスを使うと便利です。

(参照：<http://judress.tsukuenoue.com/>)

※自動変換した住所には郵便番号が含まれていますが、その部分は削除して大丈夫です。

郵便番号が分からない場合は「日本郵便」のサイトから検索できます。

(参照：<https://www.post.japanpost.jp/smt-zipcode/>)



米国市民権に関する情報

該当するものにチェックを入れてください

* 米国市民権・永住権に関して:

- (a) 米国市民権・永住権を保持しています (green card holder/ resident under the substantial presence test)
- (b) 出生は米国ですが市民権を放棄したため現在は米国籍ではありません (証明書の添付が必要となります)
- (c) 米国市民権や永住権はありません



米国市民権や永住権を保持していなければここにチェック

ご職業に関する情報

* 職業:

- 会社員
- 自営業
- 退職
- 無職

* 年間所得:

- 250万円以下
- 250~500万円
- 500~1000万円
- 1000万円以上

米国市民権に関する情報について

米国の市民権や永住権を取得していなければ「米国市民権や永住権はありません」にチェックを入れてください。



ご職業に関する情報

*職業: 該当する職業を選択

- 会社員
 自営業
 退職
 無職

*年間所得: 現在のおおよその年収を選択

- 250万円以下
 250-500万円
 500-1000万円
 1000万円以上

職業で会社員を選択すれば下記のフォームに必要事項を入力します

*勤務先 (ローマ字):

会社名

*職業:

職業: 営業職や事務職などの職種を選択

*勤務形態:

勤務形態: 商社やメディアなどの業態を選択

*業界:

業界: 正社員かパートを選択

*勤務先住所 (ローマ字・半角英数):

勤務先住所 (ローマ字・半角英数): 番地

*勤務先住所 (ローマ字・半角英数):

勤務先住所 (ローマ字・半角英数): マンションなどの建物名

*勤務先市区町村 (ローマ字):

勤務先市区町村 (ローマ字): 市区町村

*勤務先都道府県 (ローマ字):

勤務先都道府県 (ローマ字): 都道府県

*勤務先郵便番号 (半角数字):

勤務先郵便番号 (半角数字): 郵便番号

*勤務先所在国 (ローマ字):

勤務先所在国 (ローマ字): 勤務先所在国

職業	会社員/自営業/退職/無職から該当するものを選択 会社員を選択した場合は勤務先情報の詳細を記入する 自営業・退職を選んだ場合は勤務先情報の入力はない 無職を選んだ場合は資金源の詳細を説明する必要あり
年間所得	該当する年間所得にチェック
勤務先	勤務先名をローマ字入力
職業	営業職/事務職/公務員/技術職 ・SE/その他の職業から選択
業務形態	商社・金融業/メディア・IT/サービス ・小売業/建設・製造業/その他の業種から選択
業界	正社員もしくはパートを選択



勤務先住所	勤務先住所の番地・号数を記入
勤務先住所	勤務先のマンション名や建物名、 部屋番号を記入
勤務先市区町村	渋谷区の場合 Shibuya-ku
勤務先都道府県	東京都の場合 Tokyo-to
勤務先郵便番号	勤務先の郵便番号を記入
勤務先所在国	勤務先の所在国が日本なら Japan と記入





総資産

* 年収: 該当する年収額を選択

- 250万円以下
- 250~500万円
- 500~1000万円
- 1000万円以上

* おおよその純資産: 該当する純資産の額を選択

- 250万円以下
- 250~500万円
- 500~1000万円
- 1000万円以上

* 投資予定金額:

投資予定金額を選択

- 250万円以下
- 250~500万円
- 500~1000万円
- 1000万円以上

収入源に関する情報

* 収入源:

- 雇用・給与者所得
- 遺産相続
- 会社売却からの収入
- 投資もしくは貯蓄



収入源・資金源について該当するものに
チェックを入れる(複数回答可)



- 不動産・家賃収入
- 年金・恩給
- その他

* 米国市民権・永住権に関して:



収入源・資産源に関する情報が正確なものであることを確認しチェックを入れる

- 私の知る限りにおいて、本申請書に記されたすべての情報が事実かつ正確であることを認め、必要であれば追加書類を提出します

年収	該当する年収額にチェック
おおよその純資産	該当する純資産の額にチェック
投資予定金額	該当する投資予定金額にチェック
収入源	一覧の中から該当する収入源を選択 (複数選択も可)
業務形態	商社・金融業/メディア・IT/サービス ・小売業/建設・製造業/その他の業 種から選択
米国市民権・永住権について	本申請書に記されたすべての情報 が事実かつ正確ならばチェックを 入れる
破産経験	破産経験がなければ「いいえ」を選 択



投資のご経験 (複数回答可)

「投資経験なし」の場合は追加リスク開示書をご提出ください

株式・換債			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	
為替・CFD・貴金属			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	
商品			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	
先物			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	
オプション			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	
投資信託			
経験:	取引量:	取引頻度:	
なし	なし	なし	

次に投資の経験についてを入力しますが、ここで一点、注意点がございます。

この項目では、今まで経験した事のある投資について正直に報告をするのですが、もし一切投資経験が無いと申請した場合、口座開設が認められなかったり、追加リスク開示書を提出する必要が出てきてしまったりします。

こちらの項目は、証券会社から真偽を確かめる事は出来ませんので、少しでも該当する金融商品の投資経験がある場合は報告するのがオススメです。



その他の情報

*年間投資予定額: **年間投資予定額を選択**

選択してください

*口座の目的: **口座の目的を選択**

選択してください

*口座管理の担当:

ご本人が取引 第三者が取引 第三者の口座を取引

基本的にはご本人取引を選択

紹介ブローカー名 (ローマ字・半角英数):

紹介ブローカー名 (ローマ字・半角英数):

紹介ブローカーがいなければ空欄のまま

弊社担当や紹介ブローカーから連絡を受けた場合は担当者名等をご
弊社担当や紹介ブローカーから連絡を受けた場合は担当者名等をご



空欄のまままで問題なし

必要書類のアップロード

年間投資予定額	一覧から該当する予定額を選択
口座の目的	リスクヘッジ/投資・投機/自己勘定取引/その他の中から該当するものを選択
口座管理の担当	ご本人が取引を選択
紹介ブローカー名	空欄で問題なし
担当者名等	空欄で問題なし

必要書類のアップロード

書類のアップロード

書類の種類: **アップロードする本人確認書類を選択**

パスポート(推奨)

発行された国: **本人確認書類が発行された国を選択**

発行された国:

? 大切: 画像のキャプチャ方法

・パスポート

選択してください...



パスポートを選択すれば
この様なアップロード用
画面が表示される

・現住所確認書類(3か月以内発行の住民票、公共料金の請求書、銀行明細書等)

選択してください... **現住所を確認できる書類をアップロードする**

写真付きの本人確認書類と現住所を確認できる書類をカメラで撮影するスキャンするなどの方法でパソコンやタブレットなどに取り込み、申し込みフォームにアップロードします。

本人確認書類で利用できるもの

- ・パスポート
- ・運転免許証
- ・写真付きのIDカード
- ・マイナンバーカード

現住所確認書類で利用できるもの

- ・住民票
- ・公共料金の明細書
- ・銀行明細書など

※いずれも3ヶ月以内のものに限ります。



Signatures



Terms and Conditions



Client Agreement



Additional Risk Disclosure

電子署名や電子契約等に関する書類



署名する(マウスで署名することも可能)

署名し直す

こちらに簡略にご署名いただき、以下のボックスにチェックを入れ送信してください

署名の完了

入力内容を確認して間違いがなければ「送信する」をクリック

I acknowledge and understand the information provided therein.

「上記のドキュメントを読み、そこに記載されている情報を完全に理解したことを認めます」にチェックをいれる

送信する

EURJPY:

EURGBP:

USDJPY:

GBPJPY:

EURCHF:

電子署名や電子契約、クライアント契約、追加リスク開示書がダウンロードできます。※全て内容は英語になります。内容を詳しく知りたい方は、翻訳サイトなどをご活用ください。

署名欄に電子署名をします。
サインでも構いません。

その後、英語で記載されている「上記のドキュメントを読み、記載されている情報を完全に理解しました」の項目にチェックをします。

最後に入力内容を確認し「送信する」ボタンをクリックすれば完了です。

すぐにTradeviewから口座開設申請を受け取りましたという自動返信メールが届きます。



登録内容や提出書類に不備がなければ、早ければ1営業日以内にTradeviewから口座開設の完了通知メールが登録メールアドレス宛に送付されます。

そのメール内に、ライブ口座にログインするためのIDとパスワードが記載されています。

会員ページや取引プラットフォームのログインに必要なものなので忘れないようにしましょう。

できればメールの内容をプリントアウトし第三者の目に触れないところに保管しておけば安全です。

